

学校運営協議会 第4回会議 議事録

日 時：令和5年2月14日(火) 午後2時30分～4時30分

場 所：浜松湖北高校 佐久間分校 会議室

出席者：委員 坂口 健 様 校長 大澤 貢
 委員 大見拳也 様 副校長 望月俊和
 委員 坪井俊介 様 教 頭 奥村友介
(邑瀬委員は欠席)

【開会】

1 校長挨拶

2 議事

(1) 令和4年度佐久間分校の取組

〔事務局説明〕 顕著な取組や成果等について
 連携型中高一貫教育について

《委員質問・意見》

- ・就職及び進学具体的な人数は？
(事務局) 就職が3名、専門学校進学が5名、大学進学が6名である。
- ・一人一台端末の状況は？
(事務局) 新2・3年生については、県から配備された40台の端末に対応する。
 新1年生は入学時に原則購入となる。
- ・新1年生の購入はどのような形なのか？
(事務局) 分校が示す条件を満たす端末を、各自で購入していただく。
- ・どこの学校も個人で購入したものを持ち込む形なのか？
(校長) 静岡県の方針は、BYODなので生徒に購入してもらうことになる。

(2) 「令和4年度佐久間分校学校経営報告書関係者評価」について

〔事務局説明〕 教員による自己評価について
 生徒及び保護者に対するアンケート結果について

《委員質問・意見》

- ・民間企業に例えれば、教員は社員に相当すると考える。経営計画の評価では退勤時間だけが評価基準になっているがどうなのか？
(事務局) 教員に対しては、疲労度チェックや職員安全委員会の実施などもある。
- ・項目にもよるが、生徒及び保護者に対するアンケートを、教員にも行ってはどうか。
(事務局) 民間企業での取組を教えてください。
- ・人事部から定期的にアンケートがあり、社員が回答する形をとっている。
(校長) 多忙化解消の一環で、アンケートや調査を減らしている。なお、これとは別に人事評価システムの中で業務への取組状況等を管理職と共有している。
- ・ちょっとした傾向をつかむ意味でも、(生徒や保護者と)同じアンケートを教員がやってもいいのではと思う。数値目標を設定するのは難しいかもしれないが、上司との時間を

作ったり、他部署の者との時間を作ったりするなど、教員が楽しく働ける環境になって欲しい。

- ・中高連携や地域との連携などはとても良い取組だと思う。これらが「授業がわかりやすい」の評価につながっているのではないか。生徒アンケートでC、Dを選択した生徒の具体的な理由がわかると、改善へとつなげやすいと思う。他校との比較などはできないのか？

(事務局) 授業については、別に「授業アンケート」があり、それを基に評価している。他校との比較は項目の違いがあるので難しい。

(校長) 地域性や学校の特色があり、他校との比較は難しいのではないか。

- ・授業の満足度が高いのは、大きなアピールポイントである。わからない生徒へのケアが大切だと思う。
- ・出勤時間、退勤時間は何時か？また、休暇の取得状況はどのような状態か。

(事務局) 出勤時間は8時20分、退勤時間は16時50分である。定時退勤の考え方は、退勤時間+30分以内である。部活動の関係もあり、時間通りに帰れないこともある。ただし、今年度は有給休暇などを取りやすい雰囲気がある。

(校長) 授業時間が決まっており、ほかの教員への影響もあり授業時間を変更して休暇を取ることが難しい面がある。このため生徒の夏休み期間など、環境が整った時に休暇を取得する形である。

(事務局) 有給休暇は1時間単位で取得できるため、勤務時間の一部を休むパターンが多い。

(3) 「令和5年度佐久間分校スクール・ポリシー」について

〔事務局説明〕「スクール・ミッション」の確認

スクール・ポリシーの策定について

《委員質問・意見》

- ・来年度はスクール・ポリシー(案)に基づいて学校経営計画の重点目標などが決まってくるのか？

(事務局) そのとおりである。

- ・アドミッション・ポリシーにおいて「北遠・奥三河地域の中で学び、地域を創造する」という言葉と「佐久間地域での自立した生活」という言葉があるが、想定している範囲は異なるのか。

(事務局) 前者は地元から佐久間分校を目指す生徒、後者は他地区から目指す生徒を想定している。

この他スクール・ポリシーについて御意見のある方は、関係者評価の提出時に、合わせて御提出願いたい。

(4) その他

《大見委員よりダム際ワーキング報告》

- ・2回のモニターツアーを行った。企業の人事担当者や経営者など多数が参加した。
- ・佐久間分校での生徒との交流は好評であった。
- ・大人と生徒の交流は、非常に意味があるものである。

- ・この企画では大人自身も学びに来ており、同じ立場で学んだことが生徒の活発な学びにつながったと考える。
- ・来年度もこの企画を通じて分校生徒と様々な方々との交流を継続したい。

〔事務局説明〕 寮・下宿の状況について

分校ホームページについて

《委員質問・意見》

- ・3月下旬に浜松市社会福祉協議会で中学生向け進学相談会を実施する。分校について、話題を出したり、紹介を行ったりできればと考えている。大規模校にない魅力があると思う。この環境下で頑張った生徒たちが、希望する進路を実現できれば良いと思う。
(校長) 佐久間は自動車を使えば浜松市中心部から、それほど遠いわけではない。広く知ってもらうのも大事である。
- ・徳島県で阿波踊りを高校入試に取り入れている例があるが、佐久間の芸能を学校裁量枠の「重視する観点」に導入できないか？
(校長) 制度上今のところ難しい。
(事務局) 委員の皆様、1年間ありがとうございました。

【閉会】